

# 社協さくら

第 158 号  
編集・発行

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会

発行人 谷田部 満

〒285-0013  
佐倉市海隣寺町87番地 社会福祉センター2F  
TEL 043-484-6197 FAX 043-486-2518  
URL <http://www.sakurashakyo.or.jp>

## みなさまの会費が地域の福祉を支えます



児童福祉に



障がい者  
ひとり親世帯  
その他に



14地区の広報・啓発に

会費が地域福祉の財源です、ご協力を

地域に還元された会費 300円のつかいみち



地域福祉に

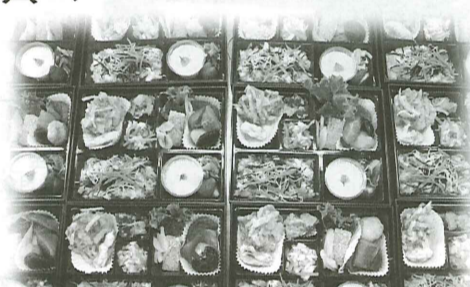
14の地区社協の活動費へ  
300円

佐倉市社会福祉協議会活動へ  
200円

会費 500円



地区社協運営に



高齢者福祉に

敬老会は市からの委託事業のため含みません

### 社協会員へのご加入をお願いします

社会福祉協議会（社協）はみなさまが会員となって、地域の福祉を高めていく活動に参画していただくことを目的とした団体です。年々福祉的援助を必要としている方は増加しています。その内容も多様化、複雑化しています。その要望と期待に応えるためには多くの財源が必要です。

例えば、地区社協の「ひとり暮らしの高齢者の昼食会」や「いきいきサロン」の実施には会費や共同募金の配分金が使われています。社協が推進していく住民どうしの支え合い活動（例えば移動が困難な方の交通手段を確保するための移動サービス事業など）にも財源の確保が必要です。そこで会員になっていただいたみなさまには「会費」の拠出をお願いし、会員相互の支え合いの活動に使わせていただいております。

地域の方の温かいおもいやりとご協力による「会費」が各種の社会福祉事業を支えています。社協が推進する地域福祉事業にご理解をいただき、一人でも多くの方が会員にご加入くださいますようお願いいたします。

- 一般会費（年額） 500円（一口）  
（町内会・自治会等のご協力により納入していただいております）
- 賛助会費（年額） 1,000円（一口）
- 特別会費（個人・年額） 2,000円（一口）
- 特別会費（団体・年額） 10,000円（一口）

平成22年度  
会費のつかいみち  
みなさまから拠出していただいた一般・賛助・個人特別会費合計2171万円のうちの60%1302万円が14地区社協に還元されます。それぞれの各地区社協では独自の事業運営で上図のような事業に使われます。詳細は各地区社協の決算書をご覧ください。

残りの40%と団体特別会費合計968万円は市社協の事業費や法人運営経費として使わせていただきます。その内訳は、事業費として448万円（地域福祉推進事業60万円、ボランティア活動274万円、広報発行の1部に100万円、食事サービス・おもちゃ図書館などの在宅福祉事業に14万円）、会員募集費63万円、法人の組織運営費として457万円（理事・評議員会の開催、OA機器のリース・保守、印刷、通信費、備品費、通訳料等の事務費、損害保険料、車庫費、表彰関係など）です。

10月	7月	30日	24日	18日	10日	6月	28日	21日	12日	5月
・第3回共同募金会 佐倉市支会理事会	・第2回理事会	・第1回 内部経理監査 財政援助団体等 監査	・第1回 佐倉市支会理事会	・第2回共同募金会 佐倉市支会理事会	・第2回評議員会	・第1回評議員会	・第1回共同募金会 佐倉市支会理事会	・第1回理事会	・平成22年度 定期監査	・第1回評議員会

社会福祉協議会（社協）は、みなさまの会費で運営されています。

# 平成22年度 佐倉市社会福祉協議会事業計画・予算概要

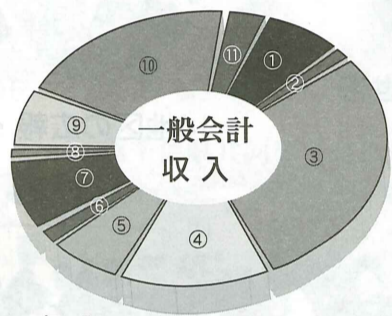
## 【平成22年度 予算概要】

収入	
会費	22,714
寄附金	4,300
経常経費補助金	95,046
助成金	2,859
委託金	44,420
事業収入	21,386
貸付事業等	5,182
共同募金配分金	27,003
負担金	2,625
雑収入	200
受取利息配当金	1,102
会計単位間繰入金収入	12,912
経理区分間繰入金収入	9,149
投資有価証券売却収入	62,600
積立預金取崩収入	9,372
収入合計	320,870
支出	
人件費	139,399
事務費	9,383
事業費	69,095
貸付事業等	6,500
助成金支出	17,191
負担金支出	393
経理区分間繰入金支出	9,221
投資有価証券取得支出	62,800
積立預金積立支出	1,524
退職共済預け金支出	6,989
予備費	1,000
支出合計	323,495

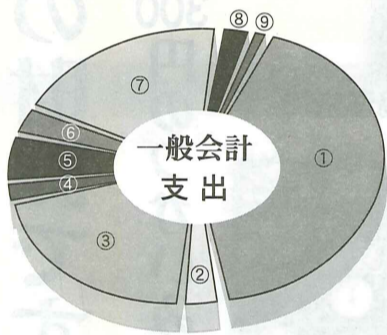
収入	
助成金	1,584
委託金収入	50,583
事業収入	6,081
負担金収入	73
介護保険収入	54,461
雑収入	1,471
収入合計	114,253
支出	
人件費	80,330
事務費	4,910
事業費	23,849
負担金支出	584
会計単位間繰入金支出	8,300
固定資産取得支出	150
支出合計	118,123

当期資金収支差額	△ 3,870
前期末支払資金残高	43,294
当期末支払資金残高	39,424

当期資金収支差額	△ 2,625
前期末支払資金残高	34,246
当期末支払資金残高	31,621



- 収入
- ①会費
  - ②寄附金
  - ③補助金・助成金
  - ④委託金
  - ⑤事業収入
  - ⑥貸付事業等
  - ⑦共同募金配分金
  - ⑧負担金・雑収入
  - ⑨繰入金
  - ⑩証券売却
  - ⑪利息・預金取崩



- 支出
- ①人件費
  - ②事務費
  - ③事業費
  - ④貸付事業等
  - ⑤助成金支出
  - ⑥繰入金支出
  - ⑦証券取得
  - ⑧退職共済預金
  - ⑨預金積立・負担金・予備費

- 【事業基本方針】
- 平成22年度は、第3次地域福祉活動計画「ともに歩むふくしプラン」及び「佐倉市社会福祉協議会発展・強化計画」の最終年度を迎えます。両計画の実現に向けた支え合いの精神に基づき福祉のまちづくりを更に推進し、第4次地域福祉活動計画を策定し事業を実施して参ります。
- 【重点実施事項】
- 第4次地域福祉活動計画の策定
  - 地区社会福祉協議会活動の支援
  - ボランティア活動・市民公益活動の支援
  - 在宅福祉サービスの充実
  - 災害時福祉救援活動体制の構築
  - 会員拡大と基金の活用
  - 組織体制基盤の強化

1 重点実施事項詳細

第3次地域福祉活動計画の成果と課題を踏まえ、公民協働の体制を更に充実させ、「佐倉市地域福祉計画」との整合性を図りつつ、新たな福祉を目指す第4次計画を策定します。

2 地区社会福祉協議会が地域の特性を踏まえ、多様な福祉課題に対応できる地域に密着した活動を推進します。また、住民相互の支え合いを基調とした小地域福祉活動の活性化を促進します。

3 ボランティアセンターと市民公益活動サポートセンターの連携強化を図り、多様な相談に応えるセンター機能の拡充に取り組みます。市民公益活動・ボランティア活動に対する一体的・効率的な支援を行うことにより、市民による地域福祉活動の促進を図ります。

4 移動サービス、食事サービス、介護保険事業など社会福祉協議会が提供する直接的サービスの安定の提供に努め、日常生活自立支援事業の効率的運営を図るとともに、

高齢者や障がいを持つ方の権利擁護として「成年後見制度」の実施に向けた検討を行います。

5 災害時における佐倉市災害ボランティアセンターの設置に向け、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを整備し、佐倉市地域防災計画との整合性を図りながら、関係機関と連携して災害時福祉救援活動の協力体制を構築します。

6 自治会・町内会・区の協力のもと、地域住民に対して社会福祉協議会活動や共同募金活動への参加を願ひし、地域福祉活動への理解を求めてまいります。広報活動を積極的に行い、会員の加入促進のための周知を図り、安定的な財源確保に努めます。

7 本会の組織体制基盤の強化を図るため、活動財源の確保、職員の質の向上、人事考課制度の導入等について検討を行います。

## 「ともに歩むふくしプラン」

### 地域福祉推進フォーラム開催

「ともに歩むふくしプラン」の推進についてみんなで考える「地域福祉推進フォーラム」が、3月6日、中央公民館で開催されました。「佐倉市地域福祉計画」と「ともに歩むふくしプラン」の各推進委員から推進状況の報告後、地域で活動している団体から具体的な

「活動が紹介されました。その後トークセッションが行われ、各団体が抱えている課題や地域の状況など、自由な意見交換が行われ、次に挙げるような実情が見えてきました。

- ・活動者自身が子育て・介護世代の場合、活動に伴うサポートがほとんどない。(保育サービスなど)
- ・手話など技術習得を必要とするボランティアの場合、練習方法や時間の問題で悩んでいる。
- ・事務所等を持たない活動団体が共有でも使える拠



点が欲しい。地域の中で同様の活動をしている団体同士の情報交換や交流がない。個人情報の取り扱いルールの見直し。その他多数のご意見。

### 中間評価報告

3月31日、ともに歩むふくしプラン推進委員会から同計画の中間評価報告書が社協会長に提出されました。報告書は、「取り組みの方向性37課題について、個別の事業に関しては多くのものが実施されているが、「地域福祉の推進」という観点からコーディネートし、推進するということがやや希薄である。各事業も計画書どおりに実施され、ニーズも解決されたという事業達成度は残念ながら低く、各事業について「いつまでに、どのように推進するか」という、より効果的な解決策の検討が求められている」としています。

### 【プロセス評価】

(1) 推進委員会の各委員は、手探りで議論し、計画に基づいて地域福祉を推進することの意義と役割を共有できたと考えられる。

(2) 評価過程の中で見えてきた課題も多い。計画の市民への周知、ニーズの把握方法、総花的な活動内容、実施方法の検討不足等。

(3) 本計画推進委員会と地区社協やNPO、ボランティアとの情報交換会を開催したことは有意義であった。

### 【委員会からの提言】

この計画をすすめるにあたっては、市社協の果たすべき役割を主体性をもって確実に果たすこと。佐倉市内の地域福祉活動を進める旗振り役として、各種活動団体・組織等へ積極的に働きかけること。これらの団体・組織間の情報連絡・交換活動を支援していくこと。特に地区社協との連携は重要であるとの提言が出されました。

### 【成果評価】

(1) 「地域福祉推進会議」は協働課題の解決と次期計画の策定について審議する重要な会議として、今後も引き続き継続していくこと。

(2) 情報交換会等が開催され、計画の周知や地域福祉の実践主体との意見交換による課題の明確化など、一定の成果が得られた。

(3) いくつかの地区社協では、本計画を事業内容の確認や計画作成の参考にしており、計画が浸透してきた。

# もっとお互いに知り会おう

## 「みんなで話そう! II」～ともに暮らすまち～ 交流会



「みんなで話そう! II」～ともに暮らすまち～ 交流会が行われました。この交流会は佐倉市障がい者団体等連絡会と佐倉市ボランティア連絡協議会(V連)共催によるもので、両団体に所属されている方、市内の地区社会福祉協議会(地区社協)の方々など約80人が参加されました。



昨年3月佐倉市自立支援協議会啓発・権利擁護部会によって発行された「障がいのある方へのサポートブック」について部会長の稲阪稔氏から講話がありました。

「サポートブック」のきた経緯と目的、広報(P.R.)と配布先、反応と活用状況などについて話していただきました。会場にいられた方でも、あることは知っていたが実物を見たことがない方も多くP.R.の良い機会となりました。(サポートブックについては昨年10月発行の「社協さくら155号」に紹介しております)

### 地域毎に分かれて意見交換

障がいのある方からは「もっと気軽に声をかけてほしい」「どうしても引きこもりがちになるが、たまに外に出て散歩していると不審者に見られてしまう」などの話があり、ボランティア側からは「もっとお互いに知り合うために交流が必要」「町内会など近所で顔見知りになることが、ともに暮らせる原点」などの意見が出されました。

またある地区社協では地域の障がいのあるかたを交えて、豚汁などをつくり20人の交流会を開催した話も紹介され、これから「ともに生きるまち佐倉」を作るために有意義な話し合いとなりました。

「サポートブック」については、もっと周知し、使ってもらうために、配布されている店舗や公共施設などに付いては、シールなどで表示したらよいなど貴重な意見も出されました。

### がわいいの協力者の来訪!

3月24日「佐倉老幼の館」を利用して地域の子どもたちが、集めた使用済み切手とベルマークをボランティア連絡協議会の部屋まで届けてくれました。毎年収集活動に熱心に取り組んでくれたお礼に、ささやかです

が折り紙とお絵かき帳をプレゼントしました。

今年は9名の子どもたちが、緊張した面持ちでプレゼントを受け取っていました。「いつもありがとう、みんなの集めた切手を大切に使用していただきます」と松崎裕美子会長から感謝の言葉があり、子どもたちのうれしそうな笑顔がありました。



### 1年を振り返って 自井・千代田地域包括支援センター



#### 相談から支援に

開設当初は、包括支援センターの知名度も低く、相談者数は少なかつたのですが、最近では多い月には70件の相談をお受けしています。相談の内容は、介護に関する相談が一番多く、ご本人やご家族が相談に来られますが、「近所のひとり暮らしの高齢者が閉じこもりで心配」「最近、お友達の様子がおかしいの、認知症かしら?」と、民生委員さんや近所の方、お友達の方が相談に来ることもあります。相談に来られて、介護保険の利用などで、生活を立て直される方は多いのですが、ひとり暮らしや高齢者世帯でご家族による支援が限られている方や高齢者ご本人の問題だけではない、すぐには解決できない

#### 介護予防の普及に

介護予防教室と言えば、体力の向上と認知症の予防がメインになっていますが、当センターでは私が歯科衛生士ということもあって、「いつまでもおいしく食べることが一番と考える」と「口の健康」に関する教室を積極的に開催させていただきました。まだまだ包括支援センターをご存知ない方がいます。

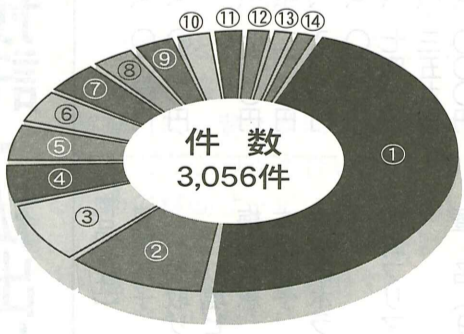
#### 地域活動の場に出向いて、ネットワークづくり

地域で開催されているサロンや高齢者クラブの集まり、ひとり暮らしの方の昼食会など、地域の皆様がつどう場に訪問させていただき、包括支援センターの紹介や出前講座の開催をさせていただきました。また、民生委員さんの定例会や自治会の集まりにも参加させていただき、情報交換の機会を持ちました。このように地域の方と直接触れ合うことで顔見知りの関係になり、今後、身近で問題が生じた時に気軽に相談していただける関係づくりにつながればと思っています。

#### 相談実績 包括支援センター (市内5カ所)

(平成21年4月～平成22年2月)

相談内容	件数	相談内容	件数
①介護に関するもの	1,487	⑧状況確認	97
②認知症	339	⑨施設入所	90
③ひとり暮らし	225	⑩精神的支援	77
④保健・医療	155	⑪家族調整	62
⑤生活支援	145	⑫権利擁護	48
⑥個人的な悩み	130	⑬虐待関連	41
⑦関係機関から	122	⑭寝たきり	38



快適・安心・安全をお届けします  
ジャスコ&旬鮮館と32の専門店

**レイクピアウスイ**  
京成臼井駅前  
〒285-0837  
佐倉市王子台1-23 TEL.043-461-1871

新茶は 長寿のサプリメント

創業 治 **小川園**  
佐倉新町総本店 (城下町通り商店街)  
佐倉市新町192 電話: 043-484-0127

鮮やかに、笑

**テオ印刷**  
佐倉市錦木町1137-4  
TEL 043(484)0321(代)  
http://www.teoh.co.jp

Medical Intelligence

医薬品総合商社  
**岩渕薬品株式会社**  
千葉県四街道市鷹の台1-5  
TEL 043-236-7707

引き続き広報をしながら、「気軽に相談ができ、地域の方に信頼される」地域包括支援センターを目指していきたく思っております。  
(佐倉市白井・千代田地域包括支援センター 千羽富紀子)  
王子台3-5-15  
TEL (488) 3731

### 福祉総合相談所

- 【相談場所】  
 ㊸社会福祉センター2階  
 TEL (484) 6199  
 ㊹西部地域福祉センター2階  
 TEL (463) 4433  
 ㊺南部地域福祉センター1階  
 TEL (483) 7211
- 心配ごと相談(民生・児童委員)  
 ㊸月曜日 ㊹水曜日 ㊺金曜日  
 10:00~15:00
- 法律相談(弁護士)  
 ㊸第4月曜日  
 10:00~15:00  
 ※抽選で8名まで  
 心配ごと相談所にて受付  
 (9:30に抽選します)
- 【相談場所・日時】  
 社会福祉協議会事務局又は  
 ボランティアセンター  
 月~金曜日 8:30~17:00
- 介護生活相談 TEL (484) 6196  
 ●貸付相談 TEL (484) 6200  
 ●ボランティア相談  
 TEL (484) 6198  
 ※祝日は相談を行いません。
- 【問合せ先】  
 相談援助班 TEL (484) 0698

### 事務局の組織が一部変わりました

地域福祉推進グループまちづくり推進班が行っていた生活福祉資金と善意銀行小口貸付事業は、業務の急増により、4月1日から福祉資金班として独立し、3人体制で行うことになりました。

### 寄附者ご芳名

(平成22年2月1日~平成22年4月15日)  
 敬称略

寄附者氏名・団体	金額(円)
リサイクル主婦の会(2回)	6,000
千葉ガス株式会社	30,000
全国友の会 佐倉支部	10,000
三浦京子	46,808
第24回大谷歌謡大賞実行委員会	15,450
匿名	30,000
合計	148,005

ありがとうございました。福祉事業に活用させていただきます。

### 平成21年度 共同募金運動に感謝状

共同募金へのご協力に千葉県共同募金会と佐倉市支会から感謝状が贈られました。

- ◎千葉県共同募金会長感謝状  
 ・渡辺 玲子 ・房田 正一  
 ・フジクラ佐倉事業所  
 ※個人3万円、法人等団体10万円以上(単年度)
- ◎千葉県共同募金会佐倉市支会長感謝状  
 ・松戸 昭 ・(株)小泉産業  
 ・木内 一成 ・(株)小泉産業・(有)大東 従業員一同  
 ・小澤 和夫  
 ・蜂谷 淳子 ・柗築炉工業(株)  
 ・志津 功 ※平成19年度~21年度の3年間で  
 ・志津 忠昭 個人3万円以上、法人等団体10  
 ・志津 文幸 万円以上  
 ・豊田 雅夫 ・佐倉市立白井西中学校  
 ・蜂谷 旭 (白井地区社協と活動)  
 ・蜂谷 松江 ・千葉県立佐倉高等学校  
 ・秋葉 英夫 (ユーカリが丘地区社協と活動)  
 ・牛玖 展 ※3校は街頭募金活動において独自の  
 ・小出 宏 取り組みで、特に平成19年度  
 ・古屋 富子 ~21年度の3年間で活動実績を  
 上げている。(順不同・敬称略)

平成23年度

### 菊地久治勉学奨励金

この奨励金は、佐倉市在住の方からの寄附金をもとに設立されたものです。

ひとり親家庭で低所得世帯の意欲と能力のある高校生に大学・短期大学の学費の援助をします。

- ・入学金、授業料等年間150万円を限度とする実費
- ・奨励金給付年数は最短修了年限までの4年間
- ・返済の義務なし
- ・募集人数 若干名
- ・応募期間 7月1日(木)~8月20日(金)
- ・奨学生の決定は書類選考及び面接等による
- ・奨学生選考対象となるにはいくつかの条件、制限等があります

※問合せは、社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会 奨学福祉事業担当

TEL 043(484)6197 FAX 043(486)2518



いつしよに働きませんか  
 ホームヘルパー募集

佐倉市内に居住する方で、高齢者・障がい者福祉に熱意と関心を持ち、介護福祉士または訪問介護員1・2級研修を修了した方を募集しています。  
 詳しくは左記までお問合せください。

問合せ  
 社会福祉法人  
 佐倉市社会福祉協議会  
 TEL (484) 6197

### 善意銀行預託・払出し

自22・2・1  
 至22・4・15  
 敬称略

【金銭預託】

積善会	一〇、〇〇〇円
みちの会	三〇、〇〇〇円
千葉土建一般労働組合	一四、七〇〇円
佐倉支部 志津西分会	三、二〇〇円
佐倉支部 志津東分会	一、八〇〇円
佐倉支部 佐倉分会	五〇、〇〇〇円
普門院写経会	九、七四七円
角栄力ス株式会社	一六、三五九円
匿名	一〇、〇〇〇円
匿名	一、六三二円
匿名	一〇〇〇円
匿名	九、〇〇〇円
匿名	二〇、〇〇〇円
匿名	一九九〇、〇〇〇円

【小口貸付】 42件 一、九九〇、〇〇〇円

【物品預託】

見尾玲子	リハビリパンツ、紙オムツ
尿取りパット、フェイスマスク、爪切り塩ビ尿器、衛生用品多数	
梅澤昌恵	毛糸多数
本橋玲子	尿取りパット3パック
佐倉市ボランティア連絡協議会	納金袋1092枚
新町フリマ 石井・池谷	車椅子6台、紙オムツ、杖2本
匿名(9名)	シャワーチェア、安楽便器
毛布6枚、衣類2件、茶葉6缶、尿取りパット、紙おむつ多数	
匿名	リハビリパンツ12件、紙オムツ18件、尿取りパット18件、ポータブルトイレ2件、シャワーチェア2件、浴槽椅子1件、杖3件、車椅子1件、歩行器1件、他12件

### 西志津芸能祭

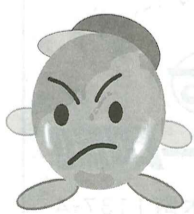
西志津芸能連盟主催の芸能祭が開催されます。皆様のおいでを待ちしています。  
 ・日時 平成22年5月23日(日) 正午から午後3時30分まで  
 ・場所 西志津ふれあいセンター2階  
 ・問合せ先 西部地域福祉センター1内  
 西志津地区社協 TEL (460) 1782  
 (チャリティ収益金の一部は地区社協に寄付されます)

### 新広報委員選任

広報委員の任期満了に伴い、地区社協、施設などから推薦をいただき、新しい委員が決まりました。今までの「社協さくら」の編集に携わっていただいた大塚洋子さんに、心より感謝申し上げます。長い間本当にお疲れ様でした。

- 「社協さくら」は今回で158号を数えますが、良き伝統を受け継ぎ、ビジネスで読みやすく親しみやすい紙面づくりを心がけます。寄稿をできるだけ多くし、参加型の広報紙を目指
- 【委員】 飯塚久実子 (内郷地区社協)  
 黒川 隆生 (西志津地区社協)  
 左奈田雄一 (佐倉市ボランティア連絡協議会)  
 瀧寄 博 (新任)
- 【退任】 大塚 洋子 (つろぎの里)

### 編集後記



SAVE THE EARTH(地球を救え)というエコの標語があります。よく考えると地球にしてみたら、大きなお世話かもしれないですね。灼熱の星の時代や大氷河時代を経験してきた地球が、温暖化程度で消滅するとは思えません。むしろ困るのは人間の方で、SAVE USとも言われています。昔から日本では人間も大自然の一部として「生かされている」と考えられてきました。これからはこんな日本人的な価値観が大事になるのではないのでしょうか。(T/K)